

2003年5月1日

東京三菱銀行
調査室

調査月報・解説/2003年5月：急拡大するPDP市場

要約文

- (1) PDP市場は、2001年以降、年率約2倍以上のペースで急拡大を続けている。これは、最近の技術革新を背景に、PDPの価格低下、性能向上が大幅に進展したことが大きい。
- (2) 今後、PDP市場は、本格的な拡大期に向かう可能性が高い。PDPの主用途である大型テレビに対するニーズが強まっているうえ、他の薄型ディスプレイとの競合でも、PDPのボリュームゾーンである40～60型の大型サイズでは、PDPが主役の座を占めるとみられるからだ。
- (3) ただし、このように市場が高成長を続けるのとは裏腹に、早くも競争は著しく激化する公算が大きい。現状は、わが国大手4社が市場の9割を占める寡占構造であるが、今後は、韓国勢などが、技術面のキャッチアップを進めるとともに、大規模な設備投資を行うことによって、急速に勢力を拡大させる虞が強い。